

伊東市総合計画 第7回 未来ビジョン会議

グループディスカッション <結果概要>

- 〈開催日時〉 令和7年1月8日（水） 18：30～20：00
- 〈会場〉 伊東市役所2階中会議室
- 〈参加者〉 未来ビジョン会議委員7人
(Aグループ及びCグループの一部は別日に開催)
- 〈テーマ〉 伊東市の将来像を描き、将来像実現のための解決策を考える。

〈意見交換の内容〉

テーマ「伊東市の将来像を描き、将来像実現のための解決策を考える」では、下記にある各グループのテーマにあわせて、**地域・社会のビジョン、対象者・顧客の理想的な未来、変化した後の自分自身の姿勢**について話し合った後に、それに起因する**解決策**を考えた。また、市長へのプレゼンテーションに向けた準備を行った。概要については次頁のとおり。(意見のまとめ方については、各グループのやり方に合わせているため、グループごとに異なります。)

グループ1	グループ3
テーマ1 危機管理・自然・環境・都市	テーマ3 医療・健康・福祉・教育・歴史・文化
磯川 卓郎	片桐 基至
勝又 千加	鈴木 奈都菜
大橋 優樹	平岡 愛菜
森 杏菜	田畑 まどか（別日に実施）
青木 心海（欠席）	八木澤 恵子（別日に実施）
佐藤 幸一（欠席）	吉田 勇輝（別日に実施）

敬称略

■テーマ 観光

キャッチフレーズ【こだわった情報発信で市民が観光を創る】

○地域・社会のビジョン

- ・市民が伊東の魅力を語るができる。
- ・空き家がなくなっている。
- ・有名な作物がある。
- ・道路、街灯がとても明るい。
(夜でも安全に移動できるくらい明るい。)
- ・市民が祭りと共存する。
- ・伊東市の観光情報について、お勧めのスポットやイベント情報が発信できる。

○対象者・顧客の理想的な未来

- ・市場・商店街がにぎわっている。
- ・楽しいお店がたくさんあるまち。
- ・どこに行くのも移動が楽なまち。
- ・どこの駅（富戸駅など）も交通手段の心配なし。
- ・移住したいNO.1に近づいている。
- ・伊東市ならではのフォトスポットがある。
- ・サードプレイスの醸成

○変化した後の自分自身の姿勢

- ・伊東の魅力を自ら発信する。
- ・地元に住み続けたいと思う。
- ・生涯伊東市と向き合う。
- ・友だちに伊東市を紹介する。
- ・遊ぶときに一人ひとりが違うオススメのお店を言える。
- ・学生のうちから、伊東で有名なものや「ならでは」のものを言える。

○解決策

- ・レンタカー制度の拡充
- ・高校生が自治体に対し、まちなかを明るくするための対策を交渉する。
- ・店舗営業時間の延長
- ・イベントプランコンテストの実施
- ・伊東市の観光情報（お勧めのイベントや限定的な情報）が1つにまとめられたプラットフォームの作成
- ・イベント告知を1つにまとめる。

■テーマ1 教育

キャッチフレーズ【学ぶ、つながる、広がる、育む】

○地域・社会のビジョン

- ・市民が子どもの教育に関心を持つ。
- ・行政との関わりが見える化
- ・温かい人と人のつながりがある。
- ・賀茂からも来たい思える伊東市

○対象者・顧客の理想的な未来

- ・積極的に意見が言える。
- ・欲しい情報がすぐに手に入る。
- ・体験を通じて、郷土愛を持つ人が増える。

○変化した後の自分自身の姿勢

- ・自分が感じている問題を、もっと大きなビジョンで解決しようと行動する。
- ・地域について、もっと自分からみんなと関わる。
- ・困ったとき、誰かに頼ろう、助けてもらおうと意識を持つ。
- ・伊東市のことを知ろうという気持ちを持つ。
- ・積極的に情報を集める。「こんなことをやってみたい」を周りと共有する、発信する。
- ・やってみたいこと、挑戦したいこと、一度はやってみようという気持ちを持つ。
- ・みんなと一緒にやっていきたいということ、他の誰かにも広めていく。

○解決策

- ・住んでいる人や観光に来た人が伊東に対する思いを共有できる掲示板のようなものができる。
- ⇒自分の知らない伊東市に対して興味が湧く。ワクワク・ドキドキが増える。
- ・地域との関わりを持つための小グループのリーダーを決める。(ある程度公式なもの)
- ⇒例えば、(先輩) 高校生のリーダーに対して、他の在学生在が相談できる。地域でのサポートや支え合いを通じ郷土愛の醸成につながる。
- ・高校生が主体となってイベントを企画し、行政や民間企業、周りの大人がサポートしやすい体制をつくる。
- ・地元で遊んでもらうため、自転車やボール遊びができる公園、または個性的な公園(珍しい花、植物が植えられているなど、フィールドワークとしても使える公園)の整備
- ・港湾や駅前整備など、構想を作る段階で中高生の意見を言える場の創設。
- ・伊東クイズパンフレットを(先輩) 高校生主体で作成し、市外からの新入生や観光客向けに発出する。
- ・自立的に行動できる人を育てるため、「自立」をテーマとした教育を伊東市の方針としていく。